

平成 30 年度 第 2 回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録	
日時：平成 31 年 3 月 14 日（木） 15：00～16：00	
場所：岡山国道事務所 3 階会議室	
配布資料	添付のとおり
議 事	<p>(1) 渋滞対策部会の概要</p> <p>(2) 主要渋滞箇所の対応状況</p> <p>(3) 岡山都市圏渋滞対策検討 WG の実施状況</p> <p>(4) 観光地における渋滞対策</p> <p>(5) その他渋滞対策</p> <p>(6) 今後の予定</p>
事務局	主要渋滞箇所の対応状況について説明。
岡山市	古京交差点について、早期完成を目指して事業を進めているところである。
中国地方整備局	ハード対策だけでは混雑緩和を図れない場合などは、信号現示の調整などソフト対策も合わせた検討が必要と思われる。
事務局	今後も関係機関と連携して、総合的に渋滞対策を進めていく。
会長	主要渋滞箇所のうち、青江南交差点が特定解除候補箇所として挙がっている。今後、速度状況の検証や合同現地調査等も行いながら検討を進めていくものとする。
事務局	岡山都市圏渋滞対策検討 WG の実施状況について説明。
岡山県	古新田交差点の対策後も、渋滞解消までは至っていない。1 日約 9 万台の交通量があり、ピンポイント対策には限界がある。抜本的な対策を検討していくべきである。
会長	今後、国道 2 号岡山市古新田～倉敷市新田間の概略ルート・構造等の検討に向けた準備を進めていく。
事務局	観光地における渋滞対策について説明。
倉敷市	今年度もGWと秋季の観光シーズンに無料シャトルバスを運行し、多くの方にご利用いただいた。来年度のGWは10連休で多くの観光客が訪れると予想しており、バスを増便して対応する予定である。また、小規模な対策として、倉敷市営中央駐車場の入口位置を変更した。合わせて駐車場内に車の滞留場所を確保した。渋滞緩和の効果を検証し、今後報告したい。
事務局	その他渋滞対策について説明。
中国地方整備局	岡山県ではスマート通勤やMMなど先進的な取り組みを行っている。渋滞緩和のためには、バスなどの公共交通機関を利用してもらうなど、そもそもの車の台数を減らす事も重要である。また、これらの取り組みは平時だけでなく、災害時や大規模工事の際の渋滞対策としても有効であるため、引き続き関係機関と連携し、検討して欲しい。
事務局	引き続き、これらの取り組みに努めていきたい。

以上